

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
52323	子どもの健康と安全 (Children's health and safety)	藤浦なつ子	✓	専門	1	選択	2年前期

科目の概要

子どもの保健・健康と安全を図るため、基礎的な知識を身につける。  
 保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について具体的に理解する。  
 緊急時の基礎対応や事故防止、安全管理を身につける。  
 子どもの保健で学んだことを踏まえ「理論に基づく実践」を重視し保育の実践において、なぜそうなるかを理解する。  
 保健活動の計画及び評価等について具体的に理解する。  
 子どもの健康・安全と家庭に・地域・行政との関係を理解し健康支援ができるよう具体的に修得する。

学修内容	到達目標
保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について学ぶ。 保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について具体的に学ぶ。 また応急手当の方法・技術について理解し実施する。 子どもの体調不良等に対する適切な対応について具体的に学ぶ。 保育における感染症対策について具体的に学ぶ。 保育における保健的対応の基本的な考え方を踏まえ、子どもの発達や状況等に即した適切な対応について具体的に学ぶ。 子どもの健康及び安全管理に関わる組織的取組や保健活動の計画及び評価等について具体的に学ぶ。	子どもの成長・発達環境との相互作用によって進むことを説明できる。 施設内の環境整備ができる。 子どもの事故の特徴と安全対策について理解しその対応がとれる。応急手当の基本を理解し、応急手当ができる。安全管理・安全教育・災害時の対応・対策について考えられる。 子どもによく見られる病気の基本的な対処法が実践できる。 感染症について理解し感染予防対策がとれる。 慢性疾患、アレルギー疾患等個別的な配慮を要する子どもへの対応について説明できる。 また、障害のある子どもへの対応について理解できる。 地域保健活動と保育との関係が理解でき必要な関係機関との連携について考えられる。 保健活動の計画と評価について理解できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例

前に踏み出す力	主体性	授業以外の時間を使い、自分で課題について調べたことを記述できる。 技術の修得のために自ら練習をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	学んだ技術は、繰り返し練習することで身につけることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理することで、健康観察の要点等を的確に把握する能力を身につけることができる。
	計画力	
	創造力	一人ひとり個性ある子どもの観察の仕方等、固定概念に捉われないこととくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	整理した内容・情報を的確な文章で表現できる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を傾聴し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「子どもの健康と安全 演習ノート」 編著：小林美由紀 編集協力：榊原洋一、森脇浩一  
 (ISBN 9 7 8 - 4 - 7 8 7 8 - 2 4 0 6 - 6 )  
 出版社：診断と治療社 定価：本体2,000円＋税

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：子どもの保健  
 資格との関連：保育士

学修上の助言	受講生とのルール
子どもの保健で学んだことを復習しておくこと。 日常生活の中で新聞、テレビ等を通して子どもの健康問題、子育てに関心を持ち考えてほしい。 興味を持ったテーマや社会に関しては、文献やネットを通して調べるくらいの意欲を持ってほしい。	毎回、教科書は必ず持参すること。 授業を欠席する時の配布資料は、出席者に依頼して確保しておくこと。 課題提出の当日授業を欠席する場合は、事前に提出すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験	65	①	✓	・授業で学修した内容の理解度を確認する	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	平常評価	小テスト		10	①	✓	・毎週の「おさらいテスト」の点数を平均して評価する。 毎週授業開始時に前回授業の「おさらいテスト」を実施し理解度を確認する。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
		レポート		15	①		・子どもの健康を増進し、安全で健やかな成長・発達を促すためには、保育所と家庭が子どもの状況を共通認識し、必要に応じて連携することが不可欠である。 「保健だより」の作成により情報伝達状況を評価する。 ・レポート：日常生活の中で新聞などの情報を通し、子どもの保健・健康・安全問題に目を向け考えることができるかを評価する。
					②		
					③		
					④		
					⑤		
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)			①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)		10	①	✓	(主体性) ・授業の予習復習をする習慣をつけ自ら進んで学習できる。 (実行力) ・学んだ技術は、繰り返し練習することで、身につけることができる。 (課題発見力) ・思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理することで、健康観察の要点等を的確に把握する能力を身につける。 (創造力) ・一人ひとり個性ある子どもの観察の仕方等、固定概念に捉われないいろいろな方向から考えることができる。 (発信力) ・整理した内容・情報を、的確な文章で表現できる。 (傾聴力) ・グループワークで、人の意見を傾聴し、さらに自分の意見を述べるができる。 (規律性) ・無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・提出物は、期限を守り提出することができる。 ・欠席をした場合は、欠席の翌週にフォローレポートを提出する。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
総合評価 割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>子どもの保健・健康・安全の基本的事項が十分理解できている。 「理論に基づく実践」を重視し保育の実践において、なぜそうするのかを理解できる。 また、関連事項にも目を向けることができる。 ④レポートにおいては、趣旨を十分理解し工夫されて、的確に表現できる。また、日常生活の子どもの健康問題等に関心を持ち社会の状況に目を向け考察することができ期限内に提出できる。 S(秀) = + + +      A(優) = + +</p>	<p>子どもの保健・健康・安全の基本的事項が理解できている。 保育の実践において、なぜそうするのか理解できる レポートにおいては、趣旨を理解し表現できる。 ④また、日常生活の子どもの健康問題等に関心を持ち記載できる。 期限内にレポート提出ができる。 B(良) = + + + +      C(可) = + + +</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	○保健的観点を踏まえた保育環境及び援助を学ぶ。 ・子どもの健康と保育環境 ・子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康及び安全の管理	・講義 ・演習：（呼吸・脈拍等を測定する）	・子どもの健康を守るために必要な保育環境について考えられる。	（予習） 子どもの体温の特徴について調べる。 体温計の種類について調べる （復習） 子どもの健康を守るために必要な保育環境について整理する	60	主体性
2週 /	○子どもの生活と保健について ・子どもの健康状態を知る。 ・健康観察のポイント ・子どもの睡眠の特徴 ・子どもの発育の変化	・小テスト及び解答をフィードバック ・講義 ・演習：身長・体重測定の方法	・子どもの健康観察のポイントが理解できる。 ・体調変化の際の個別対応が理解できる。	（予習） 現代社会の生活リズム、睡眠について考える。 （復習） 子どもの健康観察のポイントについて整理する。	90	主体性
3週 /	○保育における健康及び安全の管理について学ぶ。 ・衛生管理（室内・室外） ・事故防止及び安全対策 ・子どもの事故の特徴	・小テスト及び解答をフィードバック ・講義 ・グループワーク	・衛生管理の具体的な方法を理解する。 ・子どもの事故の特徴について理解でき、事故防止について配慮できる。	（予習） 発達段階の怪我や事故について調べる。 （復習） 子どもの事故の特徴について整理する。	60	主体性
4週 /	○保育における健康及び安全の管理について学ぶ。 ・危機管理と災害への備え ・災害時の対応 ・保育所の防災グッズ ・防災マニュアル・チェックリスト	・小テスト及び解答をフィードバック ・講義 ・グループワーク	・子どもの保育時の危機管理を理解できる。 ・災害発生時の対応・対策について理解できる。	（予習） 保育所の「防災グッズ」に何が必要か書き出してくる。 （グループワークで討議する） （復習） 災害発生時の対応について整理する。	60	主体性
5週 /	○子どもの体調不良時の適切な対応について学ぶ。 ・体調不良や傷害が発生した場合の対応と応急処置 ・熱傷 ・熱中症対策・対処等	・小テスト及び解答をフィードバック ・講義 ・グループワーク	・応急手当の基本を理解し、応急処置がとれる。	（予習） 自分が体験した熱傷、鼻出血、熱中症、交通事故等について原因、状況と対処を年齢とともに書きだす。 （復習） 応急手当・応急処置についてまとめる。	60	主体性
6週 /	○子どもの体調不良時の適切な対応について学ぶ。 ・救急処置及び心肺蘇生法	・小テスト及び解答をフィードバック ・講義 ・DVD  （課題レポートを提出）	・救急処置が必要な場合の判断と対応方法が理解できる。	（予習） 子どもの健康に関する最近のニュースを新聞等から読み取りレポートを作成する。 （復習） 救急処置の判断及び対応についてまとめる。	90	主体性 課題発見力 規律性
7週 /	○子どもがよくかかる感染症の対策について学ぶ ・感染症の集団発生の予防 ・予防接種について	・小テスト及び解答をフィードバック ・講義	・感染症を理解し、感染防止対策がとれる。	（予習） 予防接種について調べる。 どのような予防接種があるか、自分の受けている予防接種は何か調べる。 次週、使い捨てエプロン作成にあたり大きなごみ袋（45×70）、はさみを持参する。 （復習） ・感染症の予防について整理する。	90	主体性
8週 /	○子どもがよくかかる感染症の対策について学ぶ ・感染症発生時と罹患後の対応 ・使い捨てエプロンの作成	・小テスト及び解答をフィードバック ・講義 ・演習：エプロンの作成	・感染源対策及び感受性対策がとれる。 ・感染症の出席停止期間を知り対応できる。	（予習） 自分のしているうがい手洗について振り返る。 （復習） 感染防止対策、感受性対策についてまとめておく。	60	主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	○保育で必要な保健的対応を学ぶ。 ・保健的な対応の基本的な考え方 ・排泄における保健的対応 ・睡眠における保健的対応 ・口腔内の衛生	・小テスト及び解答をフィードバック ・講義  (課題レポートを提出)	・睡眠中の安全について対応できる。	(予習) 子どもの健康に関する最近のニュースを新聞等から読み取りレポートを作成する。 (復習) 子どもの睡眠中の安全についてまとめる。	90	主体性 課題発見力 規律性
10週 /	○保育で必要な保健的対応を学ぶ。 ・3歳未満児への対応 ・乳児の抱き方 ・おんぶの仕方 ・寝かせ方	・小テスト及び解答をフィードバック ・講義 ・演習	・3歳未満児の適切な保育・対応ができる。 ・乳児の抱き方 ・おんぶの仕方 ・寝かせ方	(予習) 最近使われているおんぶ紐等ベビー用品を調べる。 (復習) ・乳児の適切な抱き方おんぶ方について練習する。	60	主体性
11週 /	○保育で必要な保健的対応を学ぶ。 ・慢性疾患や障害を持つ子どもの保育 ・個別的な配慮を要する子どもの保育につて	・小テスト及び解答をフィードバック ・講義 ・グループワーク	・個別的な配慮を要する子どもの保育につて考えられる。	(予習) 慢性疾患にどのような疾患があるか書き出してくる。 (復習) 個別的な配慮を要する子どもの保育につて整理する。	60	主体性
12週 /	○保育で必要な保健的対応を学ぶ。④ ・アレルギー疾患を持つ子どもの養護 ・食物アレルギー (お菓子等のパッケージを持参)	・小テスト及び解答をフィードバック ・講義 ・グループワーク	・アレルギー疾患及び対応について理解できる。	(予習) アレルギー疾患、食物アレルギーの原因原材料及び表示について調べる。 (復習) 特定原材料について整理する。	60	主体性
13週 /	○保育で必要な保健的対応を学ぶ。 ・障害を持つ子どもへの対応 ・発達障害児の養護 ○地域保健活動と保育 ・地域や保護者との連携 「保健だより」作成ポイント	・小テスト及び解答をフィードバック ・講義 ・グループワーク	・発達障害について理解し適切な支援について考えられる。	(予習) 発達障害の特性について調べる。 (復習) 「保健だより」について参考図書を基に調べる。	60	主体性
14週 /	健康及び安全の管理の実施体制を学ぶ ・保育における保健活動の計画及び評価	・小テスト及び解答をフィードバック ・講義	・地域や保護者との連携の一つである「保健だより」が作成できる。	(復習) 「保健だより」を完成させて、次週提出する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力
15週 /	健康及び安全の管理の実施体制を学ぶ ・保健活動における職員間の連携・協働と関係機関との連携	・講義 ・保健だよりの発表  (保健だより提出)	・専門機関、地域の関係機関等を知り連携について考えられる。	(復習) 専門機関、関係機関等の名称、役割について整理する。	60	主体性 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力